

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築(2011年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都市中京区三条町計画	階数	地上5F
建設地	京都府京都市新町通三条下ル三条	構造	RC造
用途地域	商業地域	平均居住人員	98人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年7月 0.0	評価の実施日	2013年4月4日
敷地面積	827㎡	作成者	東 晃司
建築面積	650㎡	確認日	2013年4月15日
延床面積	2,817㎡	確認者	金谷 明



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・㎡)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他
町並みに配慮した格子、軒を用いた町屋風意匠の外観。敷地の区画・形質の変更無し。	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境 外皮の断熱性能を重視した計画。住宅性能評価等級4相当。 ・特定建材はすべてF☆☆☆☆を使用する。 ・全住戸2方向以上の通風・採光。	Q2 サービス性能 便利で合理的な住空間の計画。 ・歩車道分離の2方向アプローチ ・個室8㎡以上確保 ・各室に電話、TV、LAN配線。
Q3 室外環境(敷地内) 道路側軒庇による中間領域の形成。歩車道分離。	LR1 エネルギー 太陽光エネルギーの利用。 2方向以上の通風・採光。
LR2 資源・マテリアル 節水型便器の採用。	LR3 敷地外環境 大気汚染、騒音、振動の抑制。 ・適正な駐輪場の確保。 ・来客用駐車場の確保。 ・歩車道分離

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される